

## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

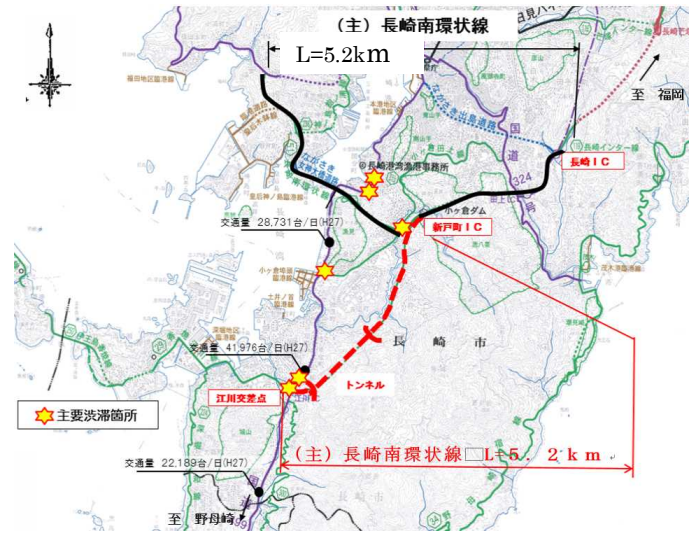
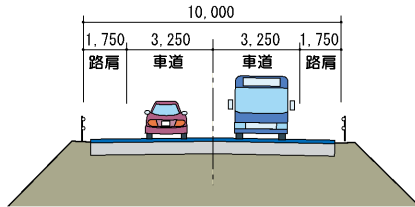
担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：野田 勝

事業名	(空港・港湾アクセス道路) 主要地方道長崎南環状線（新戸町～江川町工区）		事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市上戸町四丁目 至：長崎県長崎市江川町		延長	5.2 km		
事業概要	主要地方道長崎南環状線（新戸町～江川町工区）は、国道499号の交通を分散することで、慢性的な交通混雑を緩和するものである。また、「都市計画道路長崎外環状線」の一部を形成し、地域間の交流促進や産業振興・観光振興の活性化に寄与するものである。					
H28年度事業化	H27都市計画変更	H30年度用地着手	H30年度工事着手			
全体事業費	約250億円	事業進捗率	約3%	供用済延長	— km	
計画交通量	12,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.6 (残事業) 1.7	173/191億円 事業費：172/190億円 維持管理費：0.93/0.93億円		300/300億円 走行時間短縮便益：238/238億円 走行費用減少便益：49/49億円 交通事故減少便益：13/13億円		平成30年
感度分析の結果	残事業（全体事業）について感度分析を実施					
	【全体事業】交通量変動：B/C=1.42～1.73（交通量 ±10%） 事業費変動：B/C=1.43～1.75（事業費 ±10%） 事業期間変動：B/C=1.37～1.78（事業期間±3年）					
	【残事業】B/C=1.56～1.91（交通量 ±10%） B/C=1.58～1.92（事業費 ±10%） B/C=1.58～1.89（事業期間±2年）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和（国道499号の慢性的な交通渋滞の緩和による通勤通学、経済活動、救急搬送の向上）</li> <li>・安全性の向上（国道499号の交通の集中が緩和され、交通事故の危険性の軽減、安全な交通の確保）</li> <li>・物流ネットワークの強化・地域振興（長崎自動車道やながさき出島道路と直結する広域ネットワーク）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	「長崎市」・「長崎外環状線道路建設促進協議会」より整備促進の要望が行なわれている。					
事業評価監査委員会の意見	長崎県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成28年6月に九州横断自動車道長崎大分線（長崎IC～長崎芒塚IC間）の4車線化が事業化され、2021年度に完成予定である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約30%、事業進捗率約3%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	補償物件が多い江川町側の用地取得が課題。引き続き用地・工事の進捗を図り、早期供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術の採用、再生資材や現場発生土の有効活用を進め、工事コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

# 事業概要図



《標準断面図》



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。